

概 要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 昨日（5日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約900名態勢で活動。
昨日 （5日） の 自衛隊の 主な活動	【主な活動部隊等】 陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀） 等 【給水支援活動（3市3箇所）】 ○ 給水車5両 ・ 八代市については、人工透析に必要な水が不足している病院への給水支援。 ・ 宇城市、宇土市については、入浴支援準備のための給水。 【入浴支援・宿泊支援等（3市3箇所）】 （PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援） ＜八代市（1箇所）＞ ○ PFI船舶「はくおうⅡ」、PFI船舶支援隊（県庁で連絡員として勤務） ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、入浴支援等の提供を午前11時から午後3時、午後4時から午後8時まで実施。 ・ 八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、9月3日から2泊3日の宿泊支援及び食事支援の提供を実施。 ※9月7日から、7回目となる2泊3日の宿泊支援を開始予定。入浴・宿泊支援は9月13日をもって終了予定。 （シャワーによる入浴支援） ＜宇城市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後9時まで実施。 ※小川防災拠点センターでの自衛隊による入浴支援は9月13日をもって終了予定。 ＜宇土市（1箇所）＞ ○ 陸自第8後方支援連隊 ・ 宇土アリーナにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後10時まで実施。 ※宇土アリーナでの自衛隊による入浴支援は9月6日をもって終了予定。 【連絡員の派遣状況】 ○ 熊本県庁等に、3箇所・延べ約8名派遣。
	活動の様子  【八代市】陸自による給水支援の様子 ※8/24撮影  【宇城市】陸自隊員による入浴支援準備の様子 ※8/8撮影  【八代市】「はくおうⅡ」船内の様子 ※8/14撮影